

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 第12号

2009.12.21
第12回会議
将来の姿を
あらかず指標を
考えようの巻

今回は、前回検討した「目指すべき将来の姿」を表現する指標を考えました。みんなで創るまちづくりの指標づくりの核の部分に突入です。

■第12回「きたかみ未来創造会議」の概要

今回は、基本構想に基づいたそれぞれの分野の具体的な「目指すべき将来の姿」をまとめる作業を行いました。

今回は、それを踏まえ、その「目指すべき将来の姿」をあらわすことができる（可視化：数値化等で表現できる）指標の検討に入りました。

今回の作業は、市役所の各課が検討しようとする指標、他市の市民参加型評価で実際に用いられている指標などを参考にした「指標リスト」から、それぞれの「目指すべき将来の姿」をあらわす指標を考えるものです。

まずは、分野別に「目指すべき将来の姿」をあらわす指標を検討するため、担当する部分をメンバーで割り振りして、個人ごとに参考となる指標を選びます。

その後、分野内でほかに必要な指標が無いかを確認し、随時補足していきました。

そして、分野別に個人それぞれで「目指すべき将来の姿」に最もあてはまる指標を1つずつ選び、投票します。

最後に分野内で検討された指標を全員に報告し、作業を終了しました。

次回は、今回検討された指標のうち、北上市の現状値や他市と比較できる指標など、データを把握できるものに関しては、それらを参考にして選ばれた指標がよいかをもう一度確認するとともに、それぞれの指標がどのような水準になればよいのかの検討に入ります。

また、数値化が難しく客観的にまちづくりの成果があらわせないものに関しては、その指標を構成する要素を再検討し、可視化できる指標づくりを進めるとともに、分野の枠を超えた意見交換も行いながら、みんなで共有できる指標を作成していきます。

新しい年を迎え、きたかみ未来創造会議の議論も佳境に入っています。メンバー皆さまの積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

<次回案内>

- 日時：1月20日（水曜日）18：30～
- 場所：市民交流プラザ（ツインモール西館）



個人での指標の検討



分野内での検討



どの指標がよいか投票



本日の検討結果報告

<それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標 ※（ ）内は得票数>

分野：保健福祉

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

A1 出産に対しての不安がやわらぎ、だれもが安心して産むことができる

出産後の働きやすい環境が整ったと感じる割合(2)	出生率(1)	男性が育児休暇を取る割合(1)	乳幼児死亡率の減少(0)
--------------------------	--------	-----------------	--------------

A2 育児に対しての精神的、経済的不安が少なく、親と子供達が健康に暮らせる

育児環境が整備され、安心して子育てが出来たと感じる割合(2)	子育てサークルの利用者数(2)	育児休暇利用率(0)	
--------------------------------	-----------------	------------	--

A3 働きながら子育てしやすい保育環境が整い、だれもが安心して子供を育てられる

育児に対して不安を持つ人の割合(1)	保育園の待機児童数(1)	男性が育児休暇を取る割合(1)	放課後児童クラブ数(1)
--------------------	--------------	-----------------	--------------

A4 育児相談が気楽にできる環境が整い、地域とともに責任をもって子どもを育てられる

育児環境への満足度(4)	育児に対して不安を持つ人の割合(0)	地域子育て支援センター利用者数(0)	地域内で安心して子どもを育てられるを感じる割合(0)
--------------	--------------------	--------------------	----------------------------

A5 年をとっても、障がいがあっても必要に応じて支援や福祉サービスを受けられる

高齢者のボランティア活動、地域活動への参加率(3)	障がい者雇用率(1)	専門的資格をもって携わる人の数(0)	
---------------------------	------------	--------------------	--

A6 高齢者が身体的、精神的に健康で安心した生活を送り続けることができる

高齢者のボランティア活動、地域活動への参加率(2)	生きがいを持っている高齢者の割合(1)	高齢者雇用率(1)	
---------------------------	---------------------	-----------	--

A7 障がい者が自立した生活を実現できる環境がある

障がい者雇用率(2)	福祉施設から一般就労への移行数(1)	授産施設利用者数(0)	
------------	--------------------	-------------	--

A8

--	--	--	--

A9 積極的な健康づくりと疾病予防によって市民が充実した暮らしを送ることができる

1人あたりの医療費 (3)	特定検診受診率(1)	生活習慣病罹患率 (0)	
------------------	------------	-----------------	--

A10 かかり医制度の充実と医療機関の開かれた連携によって、情報提供システムができ適切な医療サービスを受けられる

開業医と総合病院の 連携の充実が感じら れる割合(4)	医療サービスへの満 足度(0)	医師、歯科医師数が 充実してきたと感じ る割合(0)	
-----------------------------------	--------------------	----------------------------------	--

A11 病院や地域でのリハビリテーションが充実している

介助ボランティア数 (2)	リハビリ専門医の増 加(2)	障がい者や高齢者を 持つ家族の中で、身 近に相談できる人や 期間がある人の割合 (0)	
------------------	-------------------	---	--

A12 地域で、互いに支え合い知恵を出し合って、誰もが安心して暮らせる

人口当たりの自殺率 (3)	地域内で安心して子 どもを育てられるを 感じる割合(1)	乳幼児、児童虐待件 数(0)	
------------------	------------------------------------	-------------------	--

A13 身体的・社会的・経済的などあらゆる不安や困難に陥ったときに安心して話せる

不安に陥った時に相 談できる場所がある と感じる人の割合 (3)	地域での福祉活動へ の参加者数(1)	見守り活動を行って いる人の数(0)	
---	-----------------------	-----------------------	--

A14

--	--	--	--

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標 ※（ ）内は得票数＞

分野：教育文化

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

B1 特色ある教育の実践と進学への支援により、優秀な人材が生まれている

学びたいことがある子どもの割合(2)	標準学力検査及び学習定着度状況調査における正答率の上昇(1)	学校が楽しいと感じる児童、生徒の割合（小学生、中学生）(1)	就職率(0)
--------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------

B2 地域・家庭の連携により、子どもたちが生き生きと生きる力を育む学習環境が整っている

地域の人で学校教育に関わった人の数(3)	この1年で人に親切にしたことがある中学生、高校生の割合(1)		
----------------------	--------------------------------	--	--

B3 高等教育機関が創設されていることによって、より教育内容が豊かになっている

学びたいことがある子どもの割合(2)	就職率(1)	教育内容への満足度(1)	児童生徒のボランティア参加率(0)
学校が楽しいと感じる児童、生徒の割合（小学生、中学生）(0)	中途退学率(0)		

B4 より多くの市民が自ら質の高い生涯学習の機会を創出することによって、より豊かな生活を送っている

生涯学習によって、豊かな生活を送ることができていると感じる人の割合(3)	市民1人あたりの図書館からの貸出冊数(1)	市内生涯学習事業への参加者数(0)	
--------------------------------------	-----------------------	-------------------	--

B5

--	--	--	--

B6

--	--	--	--

B7 産官学が提携することによって、先端技術を取得できる教育環境がある

職場からの受講者数（一般）(3)	産学官連携における講座数(1)		
------------------	-----------------	--	--

B8 誰もが健康や競技など、それぞれの目的にあったスポーツを、目的にあった指導により実践することができる

定期的なスポーツを行っている人の割合(3)	年齢型スポーツ施設の数(1)	スポーツ環境に対して満足している人の割合(0)	
-----------------------	----------------	-------------------------	--

B9

--	--	--	--

B10 守り育ててきた民俗芸能や文化財の価値を市民が理解し、次世代につなげることができる

15～30歳の若者の中で、伝統文化を継承しているグループに所属している人の割合(2)	関連事業への参加者数(1)	関連事業予算の増減率(1)	民族芸能を発表する機会の数(0)
民俗芸能団体連合会への加入数(0)	関連事業への支援活動参加者数(0)	関連事業における満足度(0)	

B11 市民誰もがさまざまな文化活動に触れる環境が整い、地域の特性を生かした生活を送ることができる

文化活動に触れている市民の割合(2)	芸術文化活動の総参加者数(1)	教育文化施設の利用者数(詩歌文学館、博物館など)(1)	豊かな文化活動があると感じる割合(0)
--------------------	-----------------	-----------------------------	---------------------

B12 さまざまな国際文化に触れる環境が整い、多様な価値観を受容し、さまざまな文化と交流できる人材が育っている

国際理解教育が充実していると思う人の割合(3)	国際交流ボランティア数(1)		
-------------------------	----------------	--	--

B13

--	--	--	--

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標 ※（ ）内は得票数＞

分野：産業雇用

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

C1 農業・商業・工業が特徴を活かした連携によって、多様な発展を続け、魅力がある職場が生まれている

魅力ある職場があると思う割合(3)	農商工連携新規事業数(1)	地場産品を売っている店舗数(0)	市内産の農産品を進んで購入する人の割合(0)
-------------------	---------------	------------------	------------------------

C2

--	--	--	--

C3

--	--	--	--

C4 それぞれの商店が独自の発想と資源の組み合わせにより、魅力ある商店街をつくり出している

市内の商店街で主に買い物をする市民の割合(3)	店舗数（事業所統計に基づく卸、小売、飲食、サービスの各業）(1)	中心市街地歩行者数(0)	地場産品を売っている店舗数(0)
-------------------------	----------------------------------	--------------	------------------

C5 北上独自の産業構造が構築され、安定した産業・雇用形態が形成されている

有効求人倍率(3)	1人当たり分配所得額の向上(1)	市内経済成長率(0)	
-----------	------------------	------------	--

C6 様々な資源を活かした、通年型観光の仕組みが構築されている

年間観光客数(2)	観光宿泊者数(1)	リピーターの数(1)	体験型観光の問い合わせ数(0)
-----------	-----------	------------	-----------------

C7

--	--	--	--

C8

--	--	--	--

C9 市民が農業の大切さを理解し、地域全体で農業を支え、安心安全な食料が提供されている

市内産の農産品を進んで購入する人の割合(3)	地産地消率（学校給食）(1)	農業体験参加者数(0)	産地直売所販売額(0)
------------------------	----------------	-------------	-------------

C10 農業所得が向上し、新たな就農者が生まれ、安定的な農業経営ができる環境がある

市内産の農産品を進んで購入する人の割合(3)	新規就農者数(1)	地場産品を売っている店舗数(0)	1人当たり分配所得額の向上(0)
------------------------	-----------	------------------	------------------

C11

--	--	--	--

C12 さまざまな先端技術の教育が受けられる環境が整っている

訓練施設の数(3)	資格取得者数(1)	職業訓練施設の延べ訓練人数(0)	市内経済成長率(0)
-----------	-----------	------------------	------------

C13 産業分野で活躍できる人材が育成され活躍することによって、地元産業が発展している

地元への就職率(2)	ものづくり体験教室等ものづくり人材育成の受講者数(2)	職業訓練施設の延べ訓練人数(0)	市内経済成長率(0)
------------	-----------------------------	------------------	------------

C14

--	--	--	--

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標 ※（ ）内は得票数＞

分野：生活環境

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

D1 北上の自然を市民が共通の財産としてとらえ、それを次世代につなげることができる

次世代につなげる取り組みを行っている人の割合(4)	自然を大切にしたいと感じる人の割合(0)	環境学習講座受講者数(0)	緑などの自然環境などに満足している市民の割合(0)
---------------------------	----------------------	---------------	---------------------------

D2 里山・農村などの保全・整備によって、自然と共生を維持することができる

野生動植物種類(2)	水辺で生息している生物の種類(2)		
------------	-------------------	--	--

D3 自然破壊や人体に影響を与える公害を出さず住み良いまちとなっている

大気汚染物質に係る環境基準適合率(3)	環境が良く、住みよいと思っている人の割合(1)	一般道路交通騒音に係る環境基準適合率(0)	
---------------------	-------------------------	-----------------------	--

D4 新エネルギーの導入などにより、CO₂の削減に向けた仕組みが構築されている

総二酸化炭素排出量(4)	低公害車導入台数(0)	クリーンエネルギーの発電量(0)	
--------------	-------------	------------------	--

D5

--	--	--	--

D6

--	--	--	--

D7 市民、企業、行政それぞれで3R(リサイクル・リユース・リデュース)などごみ減量のシステムが構築され、循環型の社会が形成されている

資源回収率(4)	ごみをださないように取り組んでいる人の割合(0)	市民、企業、行政それぞれの取り組み割合(0)	
----------	--------------------------	------------------------	--

D8 不法投棄がなく、ごみ分別のマナーが守られ、きれいなまちになっている

不法投棄発生件数(2)	まちにごみがなくきれいだと思う人の割合(1)	ごみステーションから回収されないごみの量(件数)(1)	
-------------	------------------------	-----------------------------	--

D9

--	--	--	--

D10

--	--	--	--

D11 地域・家庭・学校などさまざまな防犯体制の連携によって、犯罪のない市民誰もが安心して安全に住めるまちになっている

犯罪件数(3)	安全に安心して住めると感じる人の割合(1)	青少年の犯罪、補導件数(0)	
---------	-----------------------	----------------	--

D12 防災のための組織・連携構築と、災害に強い施設設備の充実によって市民の生活を守る

防災組織活動数(4)	耐震診断実施戸数(0)	耐震改修実施戸数(0)	
------------	-------------	-------------	--

D13 市民が高い防犯・防災意識を持って、市民自らが生活を守ることのできる環境がある

常に防犯防災に対して、対策を行っている人の割合(4)	防災訓練参加者数(0)	けが人、病人に応急手当が出来る人の割合(0)	
----------------------------	-------------	------------------------	--

D14 地域で災害発生ポイントが共有され、安全な避難経路や避難施設が平時から理解されている

避難経路や避難施設を理解している人の割合(4)	交通事故発生件数、死傷者数(0)	交通安全教室、啓発活動への市民参加(0)	
-------------------------	------------------	----------------------	--

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標 ※（ ）内は得票数＞

分野：基盤整備

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

E1 身体的・社会的などの背景が異なる全ての市民が不自由なく社会サービスを楽しむことができる

バリアフリー整備施設数(3)	公共施設の外国語案内数(0)	市内を車で移動するときにスムーズにできていると思っている人の割合(0)	
----------------	----------------	-------------------------------------	--

E2 ひとにやさしく心地よく歩けるまちになっている

市内に歩きやすい道路環境があると感じる人の割合(3)	歩道整備率(0)	通学路における歩道整備率(0)	道路に対する苦情数(0)
----------------------------	----------	-----------------	--------------

E3 生活と産業を支える安定した上水道サービスが継続的に行われている

水道法に定められた水質基準の達成率(2)	上水道サービス苦情数(苦情内容)(1)	水道水を飲料水として飲む人の割合(0)	
----------------------	---------------------	---------------------	--

E4 下水機能の整備・利活用がされ、快適になっている

水洗化率(2)	下水道普及率(1)	汚水処理施設整備率(0)	排水区域の整備率(0)
---------	-----------	--------------	-------------

E5

--	--	--	--

E6 交通拠点との効率的な道路の整備によって生活・産業を支える道路ネットワークが構築されている

地域回遊歩行者や交通弱者等すべての利用者の安全な通行ができていていると感じる割合(3)	市内を車で移動するときにスムーズにできていると思っている人の割合(0)	交差点滞留時間(0)	市道改良率(0)	市道舗装率(0)
---	-------------------------------------	------------	----------	----------

E7 効果的な除雪や道路補修により、安全な道路環境が構築されている

道路交通に対して不便だと感じる人の割合(2)	除雪に対する苦情数(1)	協働により行われた事業について満足している市民の割合(1)	道路に対する苦情数(0)
------------------------	--------------	-------------------------------	--------------

E8 高度情報網を使ったサービスによって、市民が生活機能の維持・充実している

情報化によって便利だと感じている人の割合(2)	高度情報サービス整備率(1)	電子行政サービス利用者数(0)	
-------------------------	----------------	-----------------	--

E9

--	--	--	--

E10 持続可能な公共交通と地域での補完的交通により、市民誰もが快適に生活できる

公共交通の利便性が高いと感じる市民の割合(3)	公共交通利用者数(0)	通学、通院や買い物で不便を感じている人の割合(0)	
-------------------------	-------------	---------------------------	--

E11

--	--	--	--

E12 自然と都市の調和の取れた計画的なまちづくりによって持続可能な都市構造になっている

目的別に区分けされた土地利用が進められていると思う人の割合(2)	ずっと北上市に住みたいと思う人の割合(1)	市民の公園に対する満足度(0)	
----------------------------------	-----------------------	-----------------	--

E13 各地区と中心市街地が連携し、市民誰もが生活に必要なサービスを受けることができる

公共交通の利便性が高いと感じる市民の割合(2)	各地区から、中心市街地に気楽に簡便に行けると感じる割合(1)	地域回遊歩行者や交通弱者等すべての利用者の安全な通行ができていていると感じる割合(0)	
-------------------------	--------------------------------	---	--

E14

--	--	--	--

<それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標 ※ () 内は得票数>

分野：推進体制

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

F1 市民・企業・行政・議会がそれぞれの自治における役割を理解しそれを果たすことができる

自治における市民の役割を理解している人の割合(2)	セクターごとの自治活動数(2)	協働を行うことができる市民活動団体数(0)	積極的な協働が北上にあると感じている人の割合(0)
---------------------------	-----------------	-----------------------	---------------------------

F2 全ての世代がまちづくりを自主的に関わっており、より満足感のある社会になっている

住んでいる地域に愛着を持っている人の割合(2)	自分の生まれ育った地域に住み続けたいと思う人の割合(0)	積極的な協働が北上にあると感じている人の割合(0)	まちづくりへの参加者数(1)
現在の市民参画のあり方に満足をしている人の割合(1)	社会活動をしている人の割合(0)	地域づくり活動参加者数(0)	協働事業参加者数(0)

F3

--	--	--	--

F4 それぞれが特色を活かした地域づくり活動が実践され、誇りと愛着をもった人・地域が形成されている

住んでいる地域に愛着を持っている人の割合(2)	地域づくり活動数(1)	自分の生まれ育った地域に住み続けたいと思う人の割合(1)	
-------------------------	-------------	------------------------------	--

F5 活発な地域活動に行われており、生活機能が維持されている

自分の生まれ育った地域に住み続けたいと思う人の割合(2)	地域づくり活動数(2)	40歳未満の市民活動への参加率(0)	
------------------------------	-------------	--------------------	--

F6

--	--	--	--

F7 市民・企業・行政がそれぞれの立場を理解し、責任と役割のもとに、互いの長所を活かした協働ができる

協働事業数(2)	多くの市民・企業が参画した事業数(1)	協働を行うことができる市民活動団体数(0)	市民企業による公的サービスが充実していると感じている人の割合(0)	市民が計画段階から参画した事業数(0)
----------	---------------------	-----------------------	-----------------------------------	---------------------

F8 多くの協働があり、多様なサービスがうけられている

積極的な協働が北上にあると感じている人の割合(2)	市民企業による公的サービスが充実していると感じている人の割合(2)	公共サービスへの参入企業・団体数(0)	
---------------------------	-----------------------------------	---------------------	--

F9

--	--	--	--

F10

--	--	--	--

F11

--	--	--	--

F12 みんなで情報を共有し、一緒に話し合える場があり、市民が共感をもつ公的サービスが実現出来ている

市民企業による公的サービスが充実していると感じている人の割合(3)	市民参画による政策評価実施(1)	行政サービスへの満足度(0)	市政情報の非理解者、問い合わせ件数(0)	情報開示請求数(0)
-----------------------------------	------------------	----------------	----------------------	------------

F13 施策優先度と市民ニーズが反映され、公共サービスを継続的に提供できる財政基盤が構築されている

会計単位、連結全体での起債残高(2)	税金が有効に使われていると思う人の割合(2)	経常収支比率(0)	
--------------------	------------------------	-----------	--

F14

--	--	--	--

F15 国・県・他市町村と効率的な役割分担の仕組みが構築されており、効果的な公共サービスが実現している

国県市の役割について、異なる立場の主体者が話し合った数(4)	この1年で縦割り行政の不都合を感じたことのある市民の割合(0)	この1年で縦割り行政の弊害を感じたことのある市職員の割合(0)	
--------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--

F16

--	--	--	--

<ふりかえりカードから>

- 参加者が少なく、1人で3～4項目について指標を考えたので、時間がなく、じっくり考えることができなかった。
 - 時間が足りなかった。(頭の切り換え)
 - ベンチマーク、ベンチマーキング的各市町村との指標比較などもありそうで次からも楽しみです。新しい指標づくりももう少しやってみたいところで、次からのみ直しも楽しみです。
 - 時間があれば、指標選びの前の指標づくりもやりたかった。
 - 時間が足りない。不十分。「想定される指標」は、どこから選択されたものなのか？ “目指すべき将来の姿” にあてはめると、理解できない指標があり。
 - 指標設定の難しい題もあったが、良くまとまったと思う。
 - 指標については、まだまだ多く見出せそうな気がした。
 - 指標が示されたことでより具体的にイメージできるようになったが、“…と感じる人の割合” という指標が多く、実際に調べるのは難しいだろうと感じた。
 - 今日も楽しくできました。交通安全のめざすべき将来像がなくビビりました。さて、第2ステージ、忘年会も楽しめます。スタッフの皆さま1年間おつかれさまでした。
 - グループ内の協力で進行がスムーズにできました。2010年度も欠席しないように参加したい。
 - 将来像の文章そのものに、たくさんの内容と思いが込められているので、数ある中から短時間で指標を選択するのはなかなか大変でした。不安を感じながらも選択するという勇気と決断が求められた感じがありました。
 - 遅れて申し訳ありませんでした。
 - 参加者が少なく残念。
 - 欠席することがしばしばでしたが、未来創造会議が進展されて素晴らしい将来像が浮き彫りとなり、楽しみが増してきたように感じます。
- グループ内5人で話し合うことは狭い内容になっていることが残念です。
 - 言葉を指標にすると難しい。目標を具体的にすると問題も具体的になるものですね。次はよりハッキリとした指標を目指します。
 - “未来” を “創造” する会議である。これを現実視すればかなり困難と思われるが、なかなか夢があり、楽しい。